

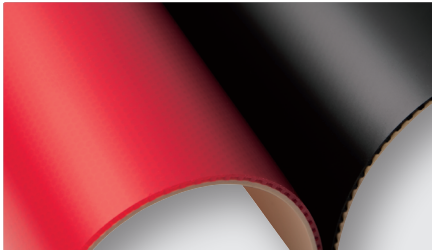
■ラバー 基礎情報

ラバーは、ゴムでできていて「シート」と「スポンジ」の組み合わせにより、分類されます。主な種類とアイコンなどを紹介します。

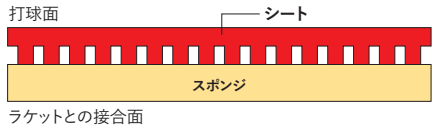
ラバーの種類と特長

■裏ソフトラバー

表面が平らで摩擦力が大きいので、回転をかけやすい。反発力を重視したもの、回転を重視したもの、攻撃用・守備用などさまざまな種類がある。攻撃型の選手を中心に、もっとも多く使われている。



裏ソフトラバー

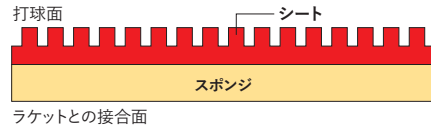


■表ソフト／表一枚ラバー

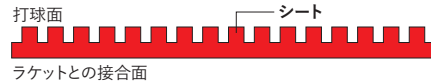
表面に粒が出ているので、球離れが速い（スピードが出やすい）。裏ソフトに比べて回転量は少ないが、相手の回転の影響も受けにくい。速いラリーで勝負する選手が使うことが多い。



表ソフトラバー

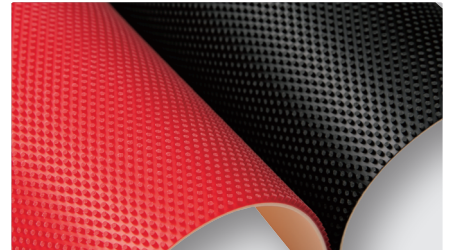


■表一枚ラバー

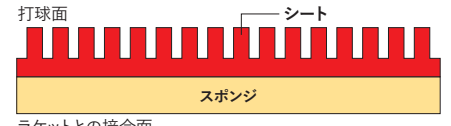


■粒高ソフト／粒高一枚ラバー

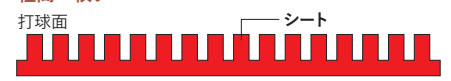
表ソフトの粒の形状が長く、無回転のボールを出せる。回転がかかったボールに対しては、逆回転の変化にして返球できる。ボールの変化で勝負する選手が使用する。回転のかかるラバーとのコンビネーションでより特長を発揮する。



粒高ソフトラバー



■粒高一枚ラバー



スポンジの厚さによる違い

■スポンジの厚さによる性質の違い

	超極薄・極薄・薄・中・中厚・厚・特厚・MAX				
スピード	小				大
コントロール	大				小
ディフェンス	大				小

■スポンジの厚さはさまざま

初心者には「中」や「厚」が使いやすく、スポンジが厚くなるほど、ボールにスピードや威力が出ますが、コントロールが難しくなります（また重くなるので、ラケットが振りにくくもなります）。ラバーは「スピードが出る＝良い」ではありません。自分の技術や、目指す戦型に合わせてお選びください。

■スポンジの硬さもさまざま

シートを貼り合わせる前のスポンジの硬さを「スポンジ硬度」として数値化しています。数値低<35°<数値高
ソフト→ミドル→ハード
ソフト・ミドル・ハードは打球した時の感覚を表しています。ラケットとの組み合わせによって感覚が異なる場合があります。

スポンジ厚さ・スポンジスピードアイコン・分類説明

■スポンジ厚さ

超極薄	0.4mm～0.7mm ULTRA SUPER THIN	極薄	0.9mm～1.2mm SUPER THIN	薄	1.2mm～1.4mm THIN	中	1.4mm～1.7mm MIDDLE
厚	1.7mm～1.9mm THICK	特厚	1.9mm～2.1mm SUPER THICK	MAX	2.1mm～ MAX		

※「中厚」表記があるものは1.5mm～1.7mm。「中」と「中厚」両表記あるものについては「中」が1.3mm～1.5mm。

■スポンジスピードアイコン

15.25
スピード
数値が大きいほどスピードが出やすい

14.50
スピン
数値が大きいほどスピンのかかりやすい

11.50
変化
数値が大きいほど変化が出やすい

35.0
スポンジ硬度
シートを貼り合わせる前のスポンジの硬さ
数値低<35°<数値高
ソフト→ミドル→ハード

■分類

テンション

高い弾性を持つ。ラバーを構成するゴムを引っ張った（テンション）状態にしている。

ZC（ゼットチャージ）

チャージ配合をコンバージョン。シートとスポンジの張り感を高め反発力をアップ。

AC（アクティブチャージ）

ゴム本来が持つ弾力性能を引きだし、シートとスポンジに張り感を持たせた状態。食い込み感抜群。

IE（エネルギー集約型）

合成ゴムと天然ゴムの比重を従来の高弾性に比べ、合成ゴムの比率を高め、弾みが良い。比較的軽量で扱いやすいのが特長。

高弾性

反発力に優れスピードが出しやすく、シートの摩擦力が強く回転をかけやすい。伸びのある曲線を描く弾道で安定性が良い。

Z9

弾力性の高い合成ゴム比率を極限まで高め、高いスピード性能を実現。

粘着性

ボールに強い回転をかけるのに適していて、弧を描く弾道で安定性がある。硬いラバーが多い。

コントロール系

やわらかいスポンジとシートが主流で、ボールコントロールしやすい。反発力と摩擦力は低い。

変化系

ナックルなどのイレギュラーなボールを出しやすいのが特長。